

第46回入学式 式辞

春のやわらかな陽光に包まれ、本日ここに、本校同窓会、後援会、PTAご来賓の皆様のご臨席を賜り、第46回入学式を挙行できますことは大きな慶びであります。

高いところからではございますが、ご来賓の皆様方に厚く御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可された新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

在校生、教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

また、保護者の皆様には、お子様が、本校に入学されましたことを心からお喜び申し上げます。

新入生の皆さん、いよいよ今日から長尾高校生としての生活が始まります。

高校生活は長い人生の中では、ほんのわずかな期間かもしれませんが、皆さんが心身ともに大きく成長していく重要な時期であり、将来の進路決定において大切な意味を持つ3年間です。

特に、この平成30年度に高校へ入学した皆さんは、国における大学入学者選抜改革という大きな改革に直面します。

皆さんが3年生となる平成32年度から、それまでの知識を問うものから、一部の教科では80字から120字程度の記述式の問題など、知識を生かしてどのように考え、解決を図るかという、思考力・判断力・表現力を問う問題が導入されます。

また現在も、大学・短大の推薦入試、専門学校や就職試験における面接試験等でも、文章力やプレゼンテーション能力が問われるようになっていきます。

こうした動きを踏まえつつ、これからの高校生活の出発に当たり、私は二つのことを新入生の皆さんに実践・実現してほしいと思います。

一つは、「授業などの学習に向かう姿勢を大切にすること」です。

学校は、第一に学習する場です。

特に、授業は学校生活の大部分を占める、最も基本となるものです。そして、授業というものは、一方通行になっては高い効果は生まれません。

「教える者」と「学ぼうとする者」とが一緒になって、一体となって創り上げていくものです。

日々の授業を大切にしたいと思っております。

授業を大切にするためには、まずは皆さんが学ぼうとする意識、心構えが大切です。授業に必要な準備を整え、授業が始まれば気持ちを切り替え、集中して先生方の説明を聞くといった姿勢が求められます。

そうした日々の努力の積み重ねが、1年後、そして3年後に大きな力となって皆さんの身に付きます。こつこつと努力を続けられる生徒であって欲しいと思います。

2つめは、「様々な学習に積極的に取り組むこと」です。

授業以外にも学習する場はたくさんあります。

体育祭や文化祭といった行事、クラス活動、人権教育や進路等をテーマとした講演、部活動、地域との交流活動等、様々な学習の場や機会があります。

特に今年度は、読書活動、生徒会活動を中心とする自治活動、中学校や近隣の大学との連携、国際交流活動等、より一層活躍・体験できる機会を増やしていきたいと考えています。

そうした機会に積極的に参加し関わってください。

中でも、部活動、クラブにはぜひ入部してください。

長尾高校には魅力的なクラブがたくさんあります。

中学校で一生懸命クラブ活動に取り組んできた人も、今まで参加していなかった人も何か一つ部活動に加入し、各クラブの目標に向かってチャレンジしてください。

様々な学習の場で、多くのことを経験し学ぶことを通して、何事にも主体的に取り組む態度、チームワークやリーダーシップ、感性、優しさや思いやりなど、豊かな人間性を育んでもらいたいと思います。

新入生の皆さん、本校の理想とする生徒像である「誠実、明朗で友愛と気力に満ちた人物」「地域に貢献できる人物」をめざし、これから3年間、様々な学習に積極的に取り組んでください。

そして、友とのふれあい、先生方や地域の方々との語らいを通して、多くのことを学んでください。

そうした努力を通して、「熱意をもって取り組んだ」「やり遂げた」と言えるものを一つ一つ増やすことで、自信をどんどん蓄えてください。

これらの学びや自信が、あなた方をより一層大きく成長させてくれるものと私は確信しています。

保護者の皆様方、改めましてお子様のご入学、誠におめでとうございます。

私たち教職員一同、お子様一人ひとりが、三年間で多くのことを学び、そして、心豊かな人間性を育むことができるよう、全力を尽くして教育に取り組む覚悟でございます。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対するご理解を賜り、積極的なご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんの限りない成長を祈念しまして、私からの式辞といたします。

平成 30 年 4 月 9 日

大阪府立長尾高等学校長 寶田 康彦